



協会章

「北」をモチーフに、人と人のコミュニケーションを表しました。

地域での交流を通じて相互理解を深め、お互いを尊重することで

よりよいまちづくりをめざすイメージです。



らした変化、防災訓練の必要性等々について具体的な事例を交えて話を聞くことができました。

（財）愛知県国際交流協会では、国際交流協会の推進役となる人

「多文化共生社会づくり」が国際交流の掲げる地域社会づくりのキーワードです。訪問先では、県内及び名古屋市内における外国人の方への日本語教室開催内容や支援方法、外国人相談の内容や経済不況がもたらした変化、防災訓練の必要性等々について具体的な事例を交えて話を聞くことができました。

協会では、7月7日（水）、日本語教室イベント、翻訳、通訳等に登録しているボランティアの方を対象に研修会を実施しました。午前は、「あいち国際プラザ」にある（財）愛知県国際交流協会、午後は、（財）名古屋国際センターを訪問しました。当日は、平日にも関わらず、成人の日本語教室に通うネパールの外国人兄弟を含め15名の方が参加しました。

協会登録ボランティア研修会の実施



材の育成として各種のボランティアの育成事業を展開しています。

（財）名古屋国際センターでは、9カ国語による情報提供等について具体的な事例をあげ説明していただきました。施設では、相談情報コーナー、図書室、交流ラウンジ等の紹介がありました。

研修会に参加した日本語教室ボランティアの方は、「日本語教室の場や空間は、読み・書き・聞く・話す事を学ぶだけではなく、先生や友人を通じて情報収集や気持ちをリラックスさせる場ともなっています。」と講師の先生から言われたことに、肩の荷が取れた気持ち！ 本当に参加して良かったと感想をいただきました。

子ども、成人 日本語教室の紹介

協会では、平成20年11月から市内在住、在勤の外国人の方を対象に日本語教室を開催しています。



小学校の児童は、在籍する学校で週一回45分程（北小4名、東小1名、栗島小2名）、中学校の生徒（8名）は、土曜日の午前に、コミュニティセンター（西庁舎分館）の3階大会議室で90分程、ボランティアの方が指導員として学習活動を援助しています。対象となる児童生徒は、国も学年も、在日期间も、日本語の習熟度もそれぞれ違いますので、マンツーマンで教える必要があります、きめ細やかな対応に児童生徒さんからは喜ばれています。

成人（15名）については、毎週金曜日の夜に、コミュニティセンターの3階大会議室で教室が開催されています。



指導員は、協会登録のボランティアの方です。

受講者の出身国は、中国、フィリピン、ブラジル、ベトナム、ネパール、トルコ、ペルー、タイとさまざまです。

市内には1300名程の外国籍の方が住んでいます。（9月1日現在の外国人登録人員）。外国人の方は、教室だけが学ぶ場ではありません。地域で、職場で、学校内等で多文化にふれ合う機会が多くあります。

協会では、外国人の方がいろいろな場を通じて市民の方と相互に学びあえる機会を作り、豊かな地域づくりを進めています。

日本語教室ボランティアだより

成人を対象にした日本語教室は、毎週金曜日の夜、コミュニティセンター（西庁舎分館）の3階で開催しています。7月30日の金曜日は、西春駅前の七夕まつりが行われるので、教室でも七夕飾りを作りました。大きな竹笹を2本と短冊を用意して、日本の伝統行事「七夕」を説明した後、一人ひとりに願い事を書いてもらいました。ネパール、ベトナム、フィリピン、中国、タイと各国の言葉で書かれた短冊と、習い



こ焼き等を食べたりしながら、日本の七夕まつりを経験してもらいました。

日本語教室ボランティア

美越 宣男

日本語で交流しよう！

日本語教室ボランティア募集

現在、児童生徒を対象の子ども日本語教室と成人を対象とした日本語教室を毎週一回開催しています。教室では、ボランティアの方と外国人との心が通う交流を目指しています。「日本語で交流すること」が必要な人たちの会話のお手伝いをしていただけるボランティアの方を募集しています。

教室は、日本語のみで行いますので、外国語ができなくてもかまいません。ぜひ、ご応募ください。

上海万博子ども絵画 国際交流展受賞式に参加

協会では、昨年「NPO法人ドリームコンプレックス」の活動を通じて、市内の保育園、幼稚園、小学校の子どもたちを対象に、上海万博の「より良い都市、より良い生活」に合わせた「まち」を題材に絵画を募集し応募しました。その結果、万博大賞に平松志織さん（西春小学校2年）、最優秀賞に平松大輔さん（西春小学校5年）、細野史紋さん（鴨田小学校1年）が受賞しました。優秀な成績を収めた3人に対して、8月22日に上海万博会場で行われる表彰式へ派遣をしました。

表彰式に家族と一緒に参加した受賞者からの感想と写真をいただきましたので紹介します。

平松大輔さん（西春小学校5年）

ぼくは、両親、妹と4人で8月21日から24日まで上海万博に行ってきました。22日に万博メ



インホールでの表彰式に参加しました。当初、夕方4時開始の予定でしたが、午前中のイベントで、会場が封鎖される騒ぎがあり、開始されたのは夜の8時20分でした。僕は、ゲストの中尾ミエさんから賞状をもらいまし

た。式終了後は、歌やピアノ、トランペットのコンサート、バレエ、ヒップホップダンス、和太鼓の演奏と、とても楽しい時間を過ごすことができました。この日の上海は、気温39度で、会場内はもつと暑く、日本では感じたことのない熱風と湿気で、会場内をじっくり見ることが出来なかったのも、もう少し涼しくなっただけで、もう一度上海万博へ行きたいです。

細野史紋さん（鴨田小学校1年）

「にいはお」。ちゅうごくのあいさつです。



ぼくは、はじめて「ばんぱく」にいて、はじめてあつたたくさんのひととともだちになりました。ひょうしゅうしきのかいじょうでは、ちゅうごくのガイドのおじさんのにほんごがじょうずでおもしろかったです。ちゅうごくのガイドのおねえさんは、にほんごがしゃべれなかったけどやさしくしてくれて、おわかれするときかなしかったです。

こんにちは。にいはお。ぼくは、あいさつすると、たくさんのおひととともだちになれる「ばんぱく」って、すばらしいとおもいました。

ぼくは、もつといろんなくにあいさつをおぼえてたくさんのおひととともだちになりたいです。

私たちの国際交流⑦

（財）AFS交換留学生の ホストファミリーになって

我が家に新しい家族が増えたのは、今年の3月末のことでした。スイスから来た留学生ソフィーは17歳のとても可愛い女の子です。ホストファミリーになったのは、財団法人AFS日本協会の募集案内を見たのがきっかけです。

英語もできないし、小さな子ども2人（小1・年少）抱えて、無謀な挑戦のように思いましたが、「何とかやるだろう」と考えていました。最初は、辞書との格闘で、私は自分の語学力の向上を実感したのですが、残念ながら、ソフィーの日本語習得力には足元にも及ばず、今では辞書を手にもすることもほとんどなく日本語で日常会話はできるようになっています。日本語で会話ができるようになるにつれて生活も楽しく、彼女ともより深く理解しあえるようになりました。この原稿を書いている時、ソフィーから「日本が大好きになったから、もつと日本について学びたい。日本の大学は難しいですか」と聞かれました。



あと数カ月でソフィーともお別れですが、彼女の将来がとても楽しみに感じました。そして、私の楽しみはまだ続きそうです。

鈴木 徳子（北名古屋市長之庄）

11/3

国際屋台開催のお知らせ

協会では、昨年に引き続き11月3日（祝）、健康ドーム及び福祉の杜駐車場において開催される、第2回商工祭において、「国際屋台」を出店します。



この催しは、市内在住の外国人と市民との交流の場として、諸外国の食べ物や着付コーナー等を出店することにより、これからの社会の一つの目標である「多文化共生（国籍や民族などの異なる人々が互いの文化的違いを認め合い

対等な関係を築きながら地域社会の構成員として共に生きていくこと。」を考え、外国人の方と市民の皆さんとのふれあいが進み、地域に新しい文化が生まれ、また、自国の文化に対する理解が深まることを期待しています。

なお、国際屋台の運営のお手伝いをいただけるボランティアの方を募集しています。イベントを通じて多文化共生社会について考えてみませんか。

中国語、韓国語 語学講座の紹介

協会では、アジアの身近な国の中国語と韓国語の語学講座を開催しています。韓国語の入門講座（木曜日夜）、初級講座（火曜日午後、水曜日夜）、中国語初級講座（木曜日夜）で、5月から翌年の3月まで、月2回で1回2時間の講座です。（今年度の募集は終了。）

ここで、受講者の方の声を紹介します。

韓国語入門

基礎がしっかりできていい。あつという間に2時間が過ぎてしまいます。次回までの2週間の間で忘れてしまうことが多く毎週開催を希望しています。

韓国の歌も聴けるといい。

韓国語初級

教科書だけではなく、韓国の歴史や文化についても聞けるので大変勉強になります。

中国語初級

旅行などですぐ使える会話も取り入れてほしい。



第3回多文化共生社会づくり講座

協会では、「国籍や民族の違いなどにかかわらず、ともに学び、働くことができる、豊かで活力ある北名古屋市」を目指して、多文化共生社会づくり講座を開催しています。今回は「アフリカの天然資源に依存した私たちの生活」について語っていただきます。

講師の方は、愛知万博のガーナブースで砂漠の緑化活動についての展示活動や森の自然学校での実演解説などで活躍されていた方です。

日時

11月27日（土）午後1時30分～3時30分

会場

北名古屋市文化勤労会館2階 研修室

講師

オンウォナ アジマン スイアウ氏

（ガーナ出身・平成7年 名古屋大学大学院農学研究科博士課程修了）

定員

30名

申込

11月24日（水）までに協会へ電話、はがき、FAX、メール等でお申し込み下さい。（先着順に受け付けます。）

各種申し込み、お問い合わせ等は、左記までお願いします。

〒481 8531 北名古屋市内西之保清水田15

北名古屋事務所（西庁舎）内

北名古屋国際交流協会

電話 0568-(22)-11111 内線2376

FAX 0568-(25)-11800

Eメール info@kitanagoya-kia.jp

ホームページ URL <http://www.kitanagoya-kia.jp>